

4

歌 8P (青) 40字言

12P
序

最印 白橋を馬した。
その水は清し、橋の連想をもたない。全然白
橋その自身身の印象である。

白橋はすくすく流る中にも清浄なものを
感じさせる。清浄、素純、閑寂、静寂、白
木の根木のものを感じさせる。いふも、あ

並

並

の清浄さは深味にあつた。ゆたかた
たたくて澄か。平よとく、その白さを
足ると、白く美しい。細く金剛砂のやうな
まじりつ一つを添へる。

そのつらやうさもある。あつた。
その花自身はあつた。すくすく花や
からそのを有る。あつた。不思議と華やうな
環境を好む。清川の上の藪の中とか、
水車の上の山かたか、人のあつたあつた
のよい指をたたくか、すくすくと、あつた

生 田 繁 村